

【令和七年度 久留米工業大学 一般選抜入学試験 個別学力試験 出題意図】

【前期一般選抜（2月3日実施）】

大 問	教科・ 科目名	出題意図
第 1 問	国語	土田雄一氏による評論文「道徳は「教科化」で変わったか 「考える授業」道半ば」を題材としました。出題を通じて、道徳教育の目標や、質的転換が「道半ば」である理由など、社会的な論点を含む文章の主張を把握する力を問います。各問は、文章の構成把握、論旨の要点（目標や課題）の抽出と記述力、および基礎的な漢字・語彙の知識があることを測る目的で設定しています。
第 2 問		舟津昌平氏による評論文「「学者は世間知らず」とはどのような意味なのか 宮廷道化師たる学者が果たすべき3つの役割」を題材としました。インターネット上での「属性攻撃」という現代的な事象と、学者の社会的役割を「宮廷道化師」に例えた筆者の独自の視点を正確に読み解く力を問います。各問を通じて、文脈に沿った適切な文章挿入、学者の評価や役割についての論理的な要約・記述力、および対人コミュニケーションにおける構造的課題の理解度を測ります。あわせて、基本的な漢字の読み書きや語彙の知識を確認します。